

平成18年度「観光カリスマ塾」開催概要

| |
|---|
| <p>【開催地】 兵庫県豊岡市</p> <p>【開催期間】 平成18年10月18日(水)～19日(木)、1泊2日</p> <p>【テーマ】 『民間主導のまちづくり』</p> <p>【塾長紹介】 上坂 卓雄 (出石城下町を活かす会元会長)</p> <p>○「町民主体の町づくり仲間を集めたカリスマ」</p> <p>昔ながらの城下町の雰囲気を残すため「出石城下町を活かす会」を設立し、住民主体の町づくり意識を高める。</p> <p>町並保存活動や伝統的な「皿そば」のPR活動により、地名度の低かった人口1万人の町は年間100万人の観光客が訪れるまでに成長。</p> |
| <p>【開催地】 愛知県南知多町</p> <p>【開催期間】 平成18年10月25日(水)～26日(木)、1泊2日</p> <p>【テーマ】 『異業種の連携・協働による地域づくり』</p> <p>～漁業体験と地産地消による離島の観光振興～</p> <p>【塾長紹介】 中山 勝比古 ((有)日間賀観光ホテル代表取締役社長)</p> <p>○「漁業を活用した離島観光のカリスマ」</p> <p>「見る」から「参加する」へと変化する観光客のニーズに応え、「たこの島」「ふぐの島」など漁業と観光の融合にいち早く取り組み、さまざまなアイデアを実行に移し、離島ながらも多くの観光客の心をつかむことに成功。</p> |
| <p>【開催地】 熊本県水俣市</p> <p>【開催期間】 平成18年11月8日(水)～9日(木)、1泊2日</p> <p>【テーマ】 『エコと観光農園による地域づくり』</p> <p>【塾長紹介】 福田 興次 (㈱福田農場ワイナリー 代表取締役社長)</p> <p>○「観光農園による地域づくり・観光振興のカリスマ」</p> <p>観光農園経営とあわせ、地元特産の甘夏みかんの加工品開発・販売、自家生産・地域の特産品にこだわった食材提供、地ビール製造・販売を通して、年間20万人を超える観光客の誘致を実現。誘客効果と全国販売を行う地元ブランドの特産品により水俣市の活性化・イメージアップに大きく貢献。</p> |
| <p>【開催地】 愛媛県新居浜市</p> <p>【開催期間】 平成18年11月11日(土)～12日(日)、1泊2日</p> <p>【テーマ】 『地域資源を活かした受け地型観光』</p> <p>【塾長紹介】 森賀 盾雄 (日本ミュージアム・マネージメント学会理事)</p> <p>○「地域資源を活かしたオープン博物館都市づくりのカリスマ」</p> <p>都市の形成史が観光資源になることに着目し、新居浜市と周辺の近代化産業遺産を独創的アイデアでまちづくり資源として活用。</p> <p>行政内部のみならず市民団体を組織してイベント等各種バラエティあふれる取り組みにより工業都市が知的博物館都市へと変わる礎を築く。</p> |
| <p>【開催地】 島根県大田市</p> <p>【開催期間】 平成18年11月21日(火)～22日(水)、1泊2日</p> <p>【テーマ】 『くらしの見えるまち』～わらをも生かすまちおこし～</p> <p>【塾長紹介】 松場 登美 ((株)石見銀山生活文化研究所取締役所長)</p> <p>○「わらしべカリスマ」</p> <p>「石見銀山遺跡」のある島根県大田市大森町。この町にこだわりながら、町にあるあらゆる素材をデザインすることをコンセプトにした異業種ネットワークを立ち上げ、ユニークな企画を次々と繰り出し、町の活性化と地域住民のふるさと意識を高める。</p> |

【開催地】 青森県五所川原市
【開催期間】 平成19年1月24日(水)～26日(金)、2泊3日
【テーマ】 『冬季誘客地吹雪キャンプ 2007』
【塾長紹介】 角田 周 (企画集団「ラブリー金木」代表)
○「もつけ」と「じよっぱり」の津軽カリスマ
厄介者である風雪と寒さを逆手にとった「地吹雪体験ツアー」などの人気を定着させ、雪と縁のない地域を中心に数多くのファンを生み出す。
夏の津軽の火祭りなど新たなイベントを次々と手がけ、広域観光ネットワークづくりにも取り組む。

【開催地】 千葉県南房総市
【開催期間】 平成19年1月30日(火)～31日(水)、1泊2日
【テーマ】 『「道の駅とみうら・枇杷倶楽部」が志してきたもの』
～地域経済・文化・情報化そして開発途上国～
【塾長紹介】 加藤 文男 (南房総市生活環境部長)
○「道の駅と広域連携のカリスマ」
「道の駅とみうら・枇杷倶楽部」の初代駅長。特産の枇杷を活用した商品開発や集客資源を広域的に束ねる「一括受発注システム」により地域経済の拡大と道の駅の黒字経営を持続。また、人形劇など地域文化のブラッシュアップ、インターネットを活用した広域情報発信による地場産業振興にも努める。

【開催地】 北海道倶知安町
【開催期間】 平成19年2月14日(水)～15日(木)、1泊2日
【テーマ】 『アウトドア体験型観光による長期滞在型の地域づくり』
【塾長紹介】 ロス・フィンドレー ((有)ニセコアドベンチャーセンター代表取締役)
○「通年型アウトドア体験観光のカリスマ」
冬のスキーしかなかった北海道ニセコ地域に、ラフティングなど夏の体験観光の魅力を加え、内外から観光客が集まる通年観光の地に変貌させる。
また、「日本リバーガイド協会」の設立に当初から参加し、ラフティングツアーの安全性やサービスの向上を通じて、ラフティング人口の増加に寄与。

【開催地】 新潟県村上市
【開催期間】 平成19年3月17日(土)～18日(日)、1泊2日
【テーマ】 『自ら動いて切り拓け、市民による地域活性化への挑戦』
【塾長紹介】 吉川 真嗣 (村上町屋商人会会長)
○「光かがやく町屋再興カリスマ」
城下町・村上に残る昔ながらの町屋を舞台に、生活空間である「町屋の中の公開」をはじめ「町屋の人形さま巡り」「町屋の屏風まつり」の企画や景観の再生に取り組む、町屋の歴史的価値と魅力を全国に広め、多くの観光客が訪れることで村上の活性化に貢献。